

脳のはなし、  
神経のはなし

## 脳卒中後の手足のつっぱり

親仁会佐藤病院 神経内科 田村洋平



近年の医療の進歩により、脳卒中で亡くなる方は減少していますが、様々な後遺症を抱えている方もいらっしゃると思います。こうした後遺症が日常生活の支障となり、介護されているご家族の方に大きな影響を及ぼすこともあるでしょう。

その中で、手足の筋肉が緊張して起こる“つっぱり”についてお話します。例えば、指をグーで握りこんだまま開かず、手洗いができなったり、爪が切れないという困りごとや、肘が“くの字”につっぱってしまって伸びないために、着替えの時に痛い思いをしたり、なかには見た目を気にされている方もいると思います。

これらの症状が起こる原因としては、神経の働きにより筋肉が異常に緊張してしまうことにあります。

このような手足のつっぱりに対する治療法の一つとして、ボツリヌス療法というものがあります。これは筋肉を緊張させている神経の働きを抑えるために注射を打ちます。すると、筋肉が柔らかくなり、つぱりの痛みが和らいだり、曲げたり伸ばしたりの動作がしやすくなるのが期待できます。また、注射後にリハビリやストレッチを積極的にやることで、この治療法の効果を最大限生かすことができます。

発症から時間が経っていても効果がでることが多くあります。つぱりに悩まれている方は、一度トライしてみる価値は十分にあると思いますよ。ぜひご相談を。

■佐藤病院 宇都宮市西3丁目1-11 028(633)9261 [www.sato-hosp.jp/](http://www.sato-hosp.jp/)